

諏訪の景気動向

平成25年 8月

(平成25年 7月末 D・I調査)

平成25年 8月26日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 25 年 7 月末調査）

「平成 25 年 7 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 171 社のご協力を得て行った平成 25 年 7 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは 8.7 となり、前回調査時(平成 25 年 4 月末、以下同)の 7.5 から、1.2 ポイント改善した。製造業の業況判断DIは 4.5 と、前回調査時の 4.7 から 0.2 ポイント悪化したが、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは 23.1 と前回調査時の 15.2 から、7.9 ポイント改善した。また、「3 ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 11.4(前回調査時 6.2)、非製造業が 25.6(前回調査時 30.4)で、回答全社では 14.6 となった。公共工事の増加や駆け込み需要がある建設業、自動車関連の製造業などが牽引する一方で、多くの分野で急激な円安による原材料高騰を懸念する声は多く、雇用情勢も厳しいまま推移している。

製造業の業況判断DIは、「3 ヶ月前」比で 4.5 と、前回調査時の 4.7 からやや悪化したが、「前年同期」比のDIは $\Delta 19.7$ で、前回の $\Delta 26.5$ よりマイナス幅が縮小している。「3 ヶ月後」の予想も 11.4 で前回の 6.2 から悪化予想が減った。また、受注状況DIは、「3 ヶ月前」比で 8.3 となり、前回の 3.1 より改善した。「前年同期」比でも前回の $\Delta 27.3$ から $\Delta 17.4$ とマイナス幅が縮小し、「3 ヶ月後」の受注予想DIも 14.4 で前回の 12.5 より改善した。一方、収益性DIは「3 ヶ月前」比では前回の $\Delta 13.3$ から $\Delta 10.6$ へとやや改善したものの、「前年同期」比では $\Delta 27.3$ から $\Delta 30.3$ へと悪化している。「3 ヶ月後」の予想は $\Delta 3.8$ で前回の $\Delta 6.3$ よりは改善している。

ヒアリング調査では、自動車関連部品など輸送用機械を中心に受注増加企業が増える半面、原材料価格の高騰が収益を圧迫するという声も増えている。依然として、親企業の海外シフトの動きやコストダウン要請に苦慮する企業もある。「3 ヶ月前」と比べた円安の影響DIは、「好転」企業が 6.1%、「悪化」企業が 23.5%の $\Delta 17.4$ となり、恩恵を受けるより懸念材料となっている企業が多い。

商業の業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて 0.0 で、前回の 38.5 から悪化した。「好転」と「悪化」の企業がともに 16.7%となった。「好転」企業が前回調査時の 46.2%から減少する一方で、「悪化」企業は前回の 7.7%から増加した。「前年同期」比DIは 25.0 で、前回の 23.1 より改善している。「3 ヶ月後」の予想DIは、「好転」と「悪化」を予想する企業がともに 16.7%で同DIは 0.0 と、前回調査時と同じだった。円安の影響は、「3 ヶ月前」と比べて「好転」企業がなく、同DIは $\Delta 33.3$ となり、原材料高の影響など円安のマイナス面が現れている。

自動車販売は、諏訪地方の 7 月の車庫証明件数(軽自動車除く)は 979 台で、前月比で 79 台増加(8.8%)したが、エコカー補助金があった前年同月比では 174 台減少($\Delta 15.1\%$)した。

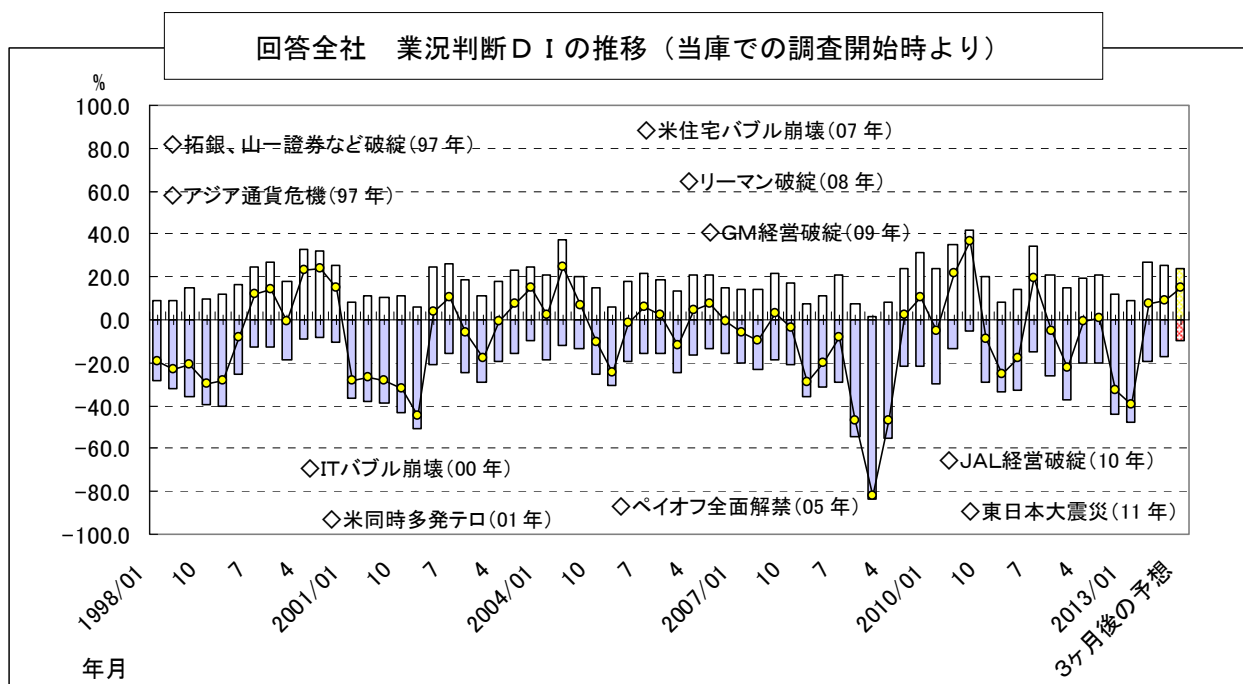
観光・サービス業の業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて 47.0 で、季節要因もあって前回調査時($\Delta 5.0$)から大幅に改善した。稼働率DIも 35.3 と、前回調査時(5.0)から改善している。今年は、平年より梅雨明けが早く、ニッコウキスゲなどの開花も早まった。諏訪湖周辺のホテル、旅館の宿泊客数は、天候や選挙の影響などで施設によって格差があり、前年同月比 60%~110%台となったもよう。高原の施設は、高山植物などを目当てにした観光客が訪れた。「前年同期」比の業況判断DIは $\Delta 17.7$ と前回調査時の 0.0 から悪化し、来客・宿泊数DIも $\Delta 23.5$ と減少しているが、「3 ヶ月後」の業況予想DIは 47.0 で前回の 45.0 より改善し、宿泊客数予

想DIも 29.5、客単価予想DIが 11.8 とプラス予想となっている。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 10.0 で、「横ばい」企業が 90.0%と多く、前回調査時の 23.1 からは悪化したものの、依然好調を維持している。「3ヶ月後」の業況予想も「悪化」とする企業がなく、20.0 となっている。受注状況DIは、「3ヶ月前」比で前回の 38.5 から 20.0、「前年同期」比で前回の 23.1 から 20.0 とやや悪化した。改善傾向が続いている。受注量が充足する企業が増える半面、資材や労務費上昇の懸念もあり、「とにかく受注を確保するという意識から、収益性を考えながらの受注になっている」という声もある。

諏訪地方の平成 25 年 6 月の新設住宅着工戸数は 126 戸と、前年同月の 85 戸に比べ 41 戸(48.2%)増加した。平成 25 年 4 月～6 月の累計着工戸数は 343 戸で、前年同期累計比で 110 戸(47.2%)の増加となり、消費増税前の駆け込み需要が現れている。7 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は 8 件 265 百万円で、平成 25 年 4 月～7 月の累計は 2,007 百万円となり、前年同期累計比 61.5%増となった。市町村は岡谷市の新病院建設事業が始まり、合計 89 件、7,466 百万円で、前年同月比 826.1%増だった。

雇用状況は、平成 25 年 6 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.02 ポイント上回る 0.76 倍となった。前年同月を上回るのは昨年 8 月以来だが、長野県 0.87 倍、全国 0.92 倍との差は開いたままとされている。新規求人数(全数)は 1,344 人で前年同月比 115 人(△7.9%)の減少、新規求職者数は 917 人で前年同月比 143 人(△13.5%)の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、運輸業で 65.6%、飲食店・宿泊業で 49.6%増加し、その他サービスで 32.4%、建設業で 30.8%減少した。また、1 件 10 人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 52 人と、前年同月より 70 人、前月より 6 人それぞれ減少した。新規求人数の減少や事業停止企業が出るなど不安定要素もあり、求人が活発化しているとはいえない状況となっている。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(171社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業が25.7%、「横這」企業が57.3%、「悪化」企業が17.0%で同DIは8.7と、前回調査時の7.5から1.2ポイントの改善となった。前回比で製造業は、「好転」企業が25.0%から24.2%へ、「悪化」企業は20.3%から19.7%へ減少した。非製造業は「好転」企業が32.6%から30.8%へ、「悪化」企業は17.4%から7.7%へ減少した。「好転」企業はやや減少しているが、「悪化」企業も減少し、「横這」企業が増加する傾向となっている。改善傾向が続く建設業や季節要因の観光業が全体を引き上げている。

産業別業況表

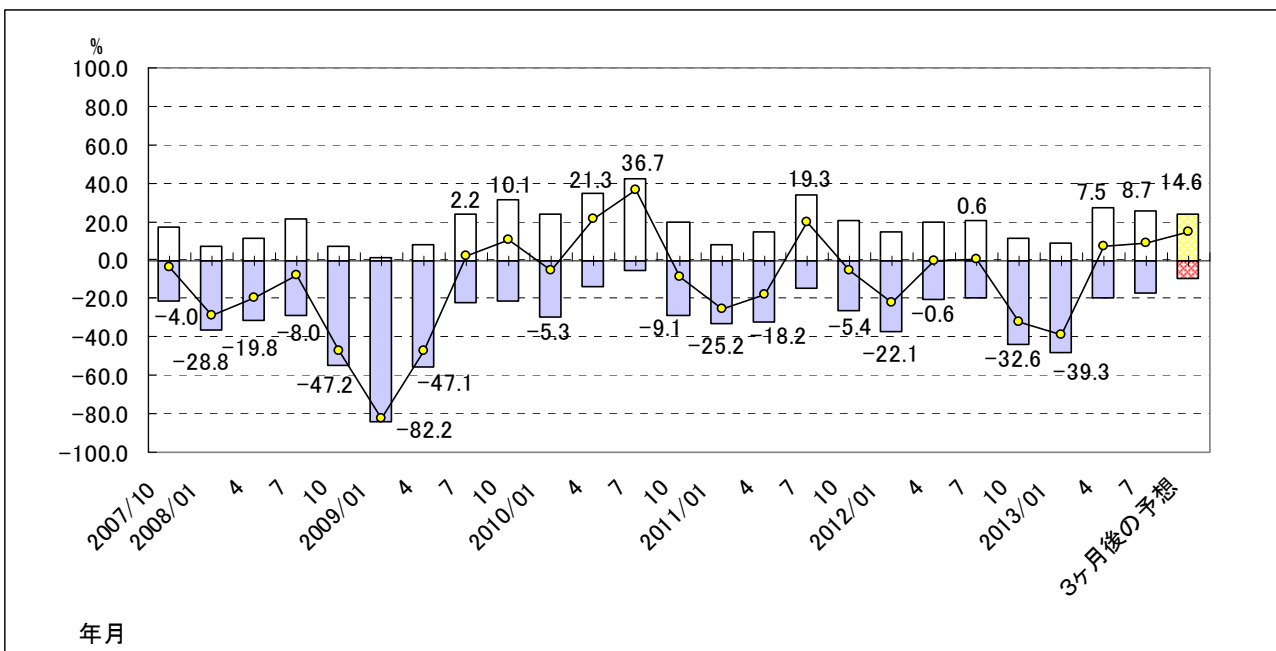
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	171	25.7	57.3	17.0	8.7	171	23.4	38.6	38.0	-14.6	171	24.0	66.7	9.4	14.6
製造業	132	24.2	56.1	19.7	4.5	132	20.5	39.4	40.2	-19.7	132	21.2	68.9	9.8	11.4
非製造業	39	30.8	61.5	7.7	23.1	39	33.3	35.9	30.8	2.5	39	33.3	59.0	7.7	25.6
商業(大型店)	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	41.7	41.7	16.7	25.0	12	16.7	66.7	16.7	0.0
建設業	10	10.0	90.0	0.0	10.0	10	30.0	50.0	20.0	10.0	10	20.0	80.0	0.0	20.0
観光・サービス	17	52.9	41.2	5.9	47.0	17	29.4	23.5	47.1	-17.7	17	52.9	41.2	5.9	47.0

自社業況判断DIの推移

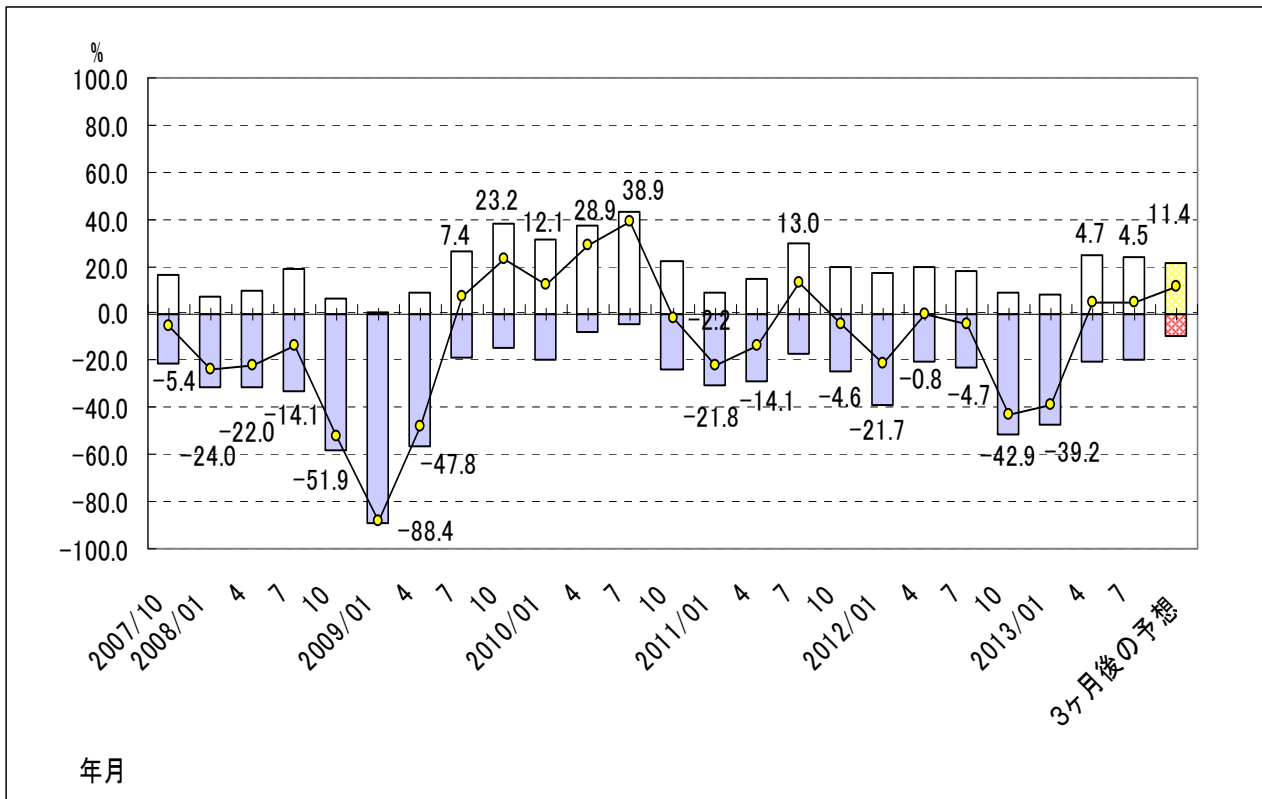
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



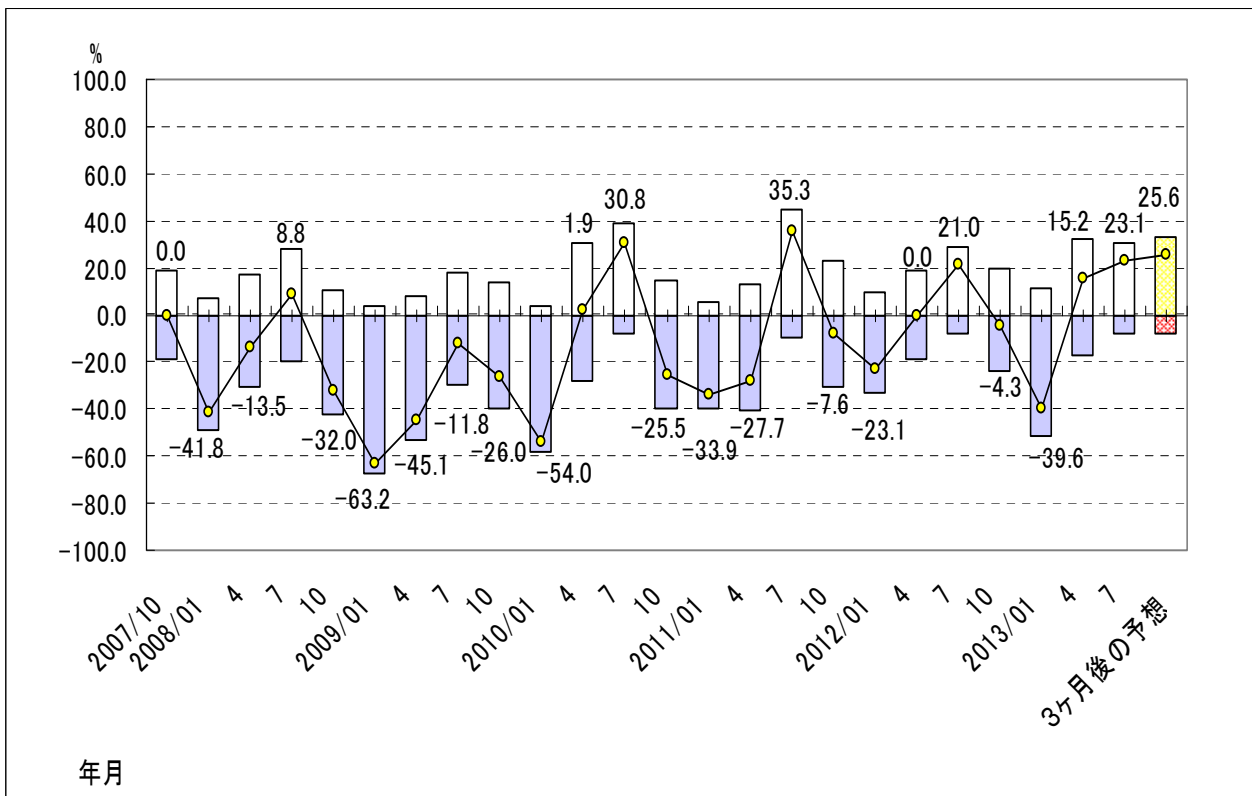
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で4.5と、前回調査時の4.7から0.2ポイント悪化した。「前年同期」と比べたDIは△19.7で、前回調査時の△26.5から6.8ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想DIは11.4で、「好転」企業が増加し、「悪化」企業が減少して、前回調査時の6.2から5.2ポイント改善した。

受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて8.3と、前回調査時の3.1から5.2ポイント改善した。「前年同期」比は△17.4で前回の△27.3から9.9ポイント改善し、「3ヶ月後」の予想DIも14.4と、前回調査時の12.5から1.9ポイント改善している。

一方、収益性DIは「3ヶ月前」比で△10.6と前回調査時の△13.3からやや改善し、「3ヶ月後」の収益性予想DIも△3.8で、前回の△6.3より2.5ポイント改善した。ただ、「前年同期」比では前回の△27.3から△30.3へ3.0ポイントマイナス幅が広がった。

円安の影響DIは「3ヶ月前」と比べて△17.4、「前年同期」比で△15.1、「3ヶ月後」の予想が△13.6と。いずれも「悪化」が「好転」を上回っている。

規模別の業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ、「1～29人企業」は1.5(前回△7.5)、「30～99人企業」が4.6(前回21.4)、「100人以上企業」は16.6(前回10.0)となり、全ての規模で「好転」企業が上回っている。「3ヶ月後」の予想DIは「1～29人企業」が1.4で前回の△3.0からプラスに転じ、「30～99人企業」は25.0(前回14.3)、「100人以上企業」16.6(前回20.0)となっている。

業種別(主要5業種)の業況判断DIでは、「3ヶ月前」と比べて「輸送用機械」が前回の△5.9から38.9と大幅改善した。このほか、「電気機械」以外は前回より改善した。「前年同期」比では、「輸送用機械」が前回の△35.3から11.1へと改善幅が大きい。「金属製品」と「精密機械」は悪化し、「一般機械」「電気機械」は改善した。「3ヶ月後」の予想DIは、「輸送用機械」の33.3をはじめ、全ての業種で「好転」が「悪化」を上回った。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	132	24.2	56.1	19.7	4.5	132	20.5	39.4	40.2	-19.7	132	21.2	68.9	9.8	11.4	
規模	1～29人	70	22.9	55.7	21.4	1.5	70	20.0	45.7	34.3	-14.3	70	14.3	72.9	12.9	1.4
	30～99人	44	27.3	50.0	22.7	4.6	44	20.5	31.8	47.7	-27.2	44	31.8	61.4	6.8	25.0
	100人～	18	22.2	72.2	5.6	16.6	18	22.2	33.3	44.4	-22.2	18	22.2	72.2	5.6	16.6
分類	金属製品製造業	12	25.0	66.7	8.3	16.7	12	8.3	16.7	75.0	-66.7	12	25.0	75.0	0.0	25.0
	一般機械器具製造業	33	18.2	60.6	21.2	-3.0	33	18.2	48.5	33.3	-15.1	33	18.2	69.7	12.1	6.1
	電気機械器具製造業	28	21.4	50.0	28.6	-7.2	28	28.6	28.6	42.9	-14.3	28	21.4	67.9	10.7	10.7
	輸送用機械器具製造業	18	38.9	61.1	0.0	38.9	18	33.3	44.4	22.2	11.1	18	33.3	66.7	0.0	33.3
	精密機械器具製造業	13	38.5	53.8	7.7	30.8	13	23.1	30.8	46.2	-23.1	13	30.8	69.2	0.0	30.8

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて16.7で、前回調査時の14.3から2.4ポイント改善した。しかし、「前年同期」比は△66.7で、大幅改善した前回の△42.9から23.8ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想DIは25.0で前回の7.2から改善している。受注量が増加した企業が増えているが、減少したままの企業もあり格差が見られ、コストダウン要請もある。円安の影響は5業種中最も「悪化」が多い。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて△3.0で前回の△6.2から改善している。「前年同期」比も△15.1(前回△37.5)と改善した。「3ヶ月後」の予想DIは「好転」企業18.2%、「悪化」企業12.1%で6.1と前回の3.1から3.0ポイント改善している。自動車関連で好調な企業が多く、産業機械部品は、中国向けが景気減速の影響で低調となっている。半導体関連で動きが出る兆しを感じられている。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業が21.4%、「悪化」企業が28.6%の△7.2と、前回調査時の12.5から悪化した。「前年同期」比では前回の△16.6から△14.3と2.3ポイントの改善となっている。また、「3ヶ月後」の予想DIは10.7で、「好転」企業が21.4%、「悪化」企業は10.7%となった。取引企業の海外シフトなどで、先行きの不透明感を持つ企業も見られる。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて38.9で、前回の△5.9から44.8ポイント改善した。「好転」企業が38.9%で、「悪化」企業が23.5%から0%になっている。「前年同期」比は11.1で前回の△35.3から46.4ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想DIも33.3となっている。円安の影響で好転した企業の割合が5業種中最も多い。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて30.8で、前回の23.1から7.7ポイント改善している。「前年同期」比は△23.1で前回の15.4から悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは30.8で、「好転」企業が、「悪化」企業を上回っている。医療機器関連などは堅調に推移し、一部に旺盛な光学機器関連企業がある。取引先企業の業況が回復傾向で、新機種の受注をした企業もある。

② 規模別業況

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて、「1～29人」規模が1.5、「30～99人」規模が4.6、「100人以上」規模が16.6だった。「前年同期比」は「1～29人」規模が△14.3、「30～99人」規模が△27.2、「100人以上」規模が△22.2だった。「3ヶ月後」の予想DIは、「1～29人」規模は1.4、「30～99人」規模が25.0、「100人以上」規模は16.6となっている。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は「増加」企業 30.3%、「減少」企業 22.0%で同DIは 8.3 と、前回調査時の 3.1 から改善している。「前年同期」比では前回の△27.3 から△17.4 と改善した。「3ヶ月後」の受注予想DIは 14.4 で「増加」企業 28.0%、「減少」企業 13.6%と、前回の 12.5 から、さらに改善している。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は 7.1 で、前回の△6.1から改善しプラスに転じた。前回大幅改善した「30～99人」企業は 2.3 と改善傾向が続く。「100人以上」も 27.8 で前回の 10.0から、さらに改善している。また、「前年同期」比では「1～29人」が△1.4で、前回の△25.7から改善したが、「30～99人」は△43.2と前回の△21.5から再び悪化した。「100人以上」は、△16.6と前回の△45.0から改善している。一方、「3ヶ月後」の受注予想では「1～29人企業」は前回の△1.5から改善し、2.9で増加予想企業が上回った。「30～99人」は 25.0、「100人以上」も 33.3と、増加予想が上回っている。

業種別(主要 5 業種)では、「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「輸送用機械」は前回の△17.7 から 33.3と大幅改善した。「精密機械」も△7.7から 38.5へ改善したが、「金属製品」は 21.5から 16.7、「一般機械」は 6.2から 0.0、前回改善した「電気機械」は 12.5から△3.6へ悪化した。

「前年同期」比のDIでは「輸送用機械」が前回の△41.2から 0.0へ大幅改善し、「一般機械」が△31.2から△12.2、「電気機械」は△20.8から△14.3と改善傾向だが、「金属製品」は△42.9から△66.7、「精密機械」は 7.7から△15.4へと悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、全ての業種で「好転」予想企業が「悪化」予想企業を上回っている。「電気機械」が前回の 29.2から 17.9とやや悪化しているものの、「金属製品」は 14.3から 25.0、「一般機械」が 6.2から 12.1、「輸送用機械」は 17.6から 38.9、「精密機械」も 38.5から 46.2と、受注の増加を予想する企業が増えている。

業種別・規模別受注状況表

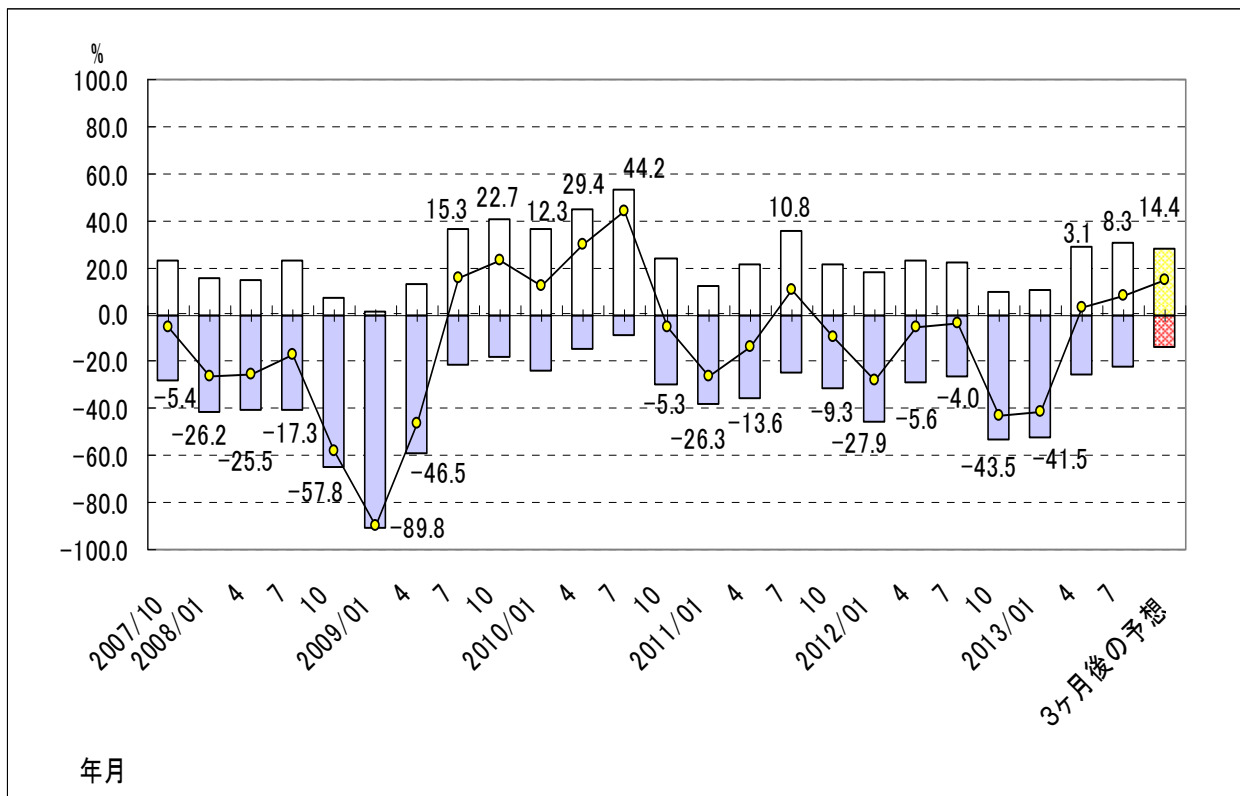
表-3

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
製造業		132	30.3	47.7	22.0	8.3	132	25.0	32.6	42.4	-17.4	132	28.0	58.3	13.6	14.4
規模	1～29人	70	30.0	47.1	22.9	7.1	70	28.6	41.4	30.0	-1.4	70	18.6	65.7	15.7	2.9
	30～99人	44	31.8	38.6	29.5	2.3	44	18.2	20.5	61.4	-43.2	44	36.4	52.3	11.4	25.0
	100人～	18	27.8	72.2	0.0	27.8	18	27.8	27.8	44.4	-16.6	18	44.4	44.4	11.1	33.3
分類	金属製品製造業	12	41.7	33.3	25.0	16.7	12	8.3	16.7	75.0	-66.7	12	25.0	75.0	0.0	25.0
	一般機械器具製造業	33	21.2	57.6	21.2	0.0	33	24.2	39.4	36.4	-12.2	33	24.2	63.6	12.1	12.1
	電気機械器具製造業	28	25.0	46.4	28.6	-3.6	28	28.6	28.6	42.9	-14.3	28	28.6	60.7	10.7	17.9
	輸送用機械器具製造業	18	38.9	55.6	5.6	33.3	18	33.3	33.3	33.3	0.0	18	50.0	38.9	11.1	38.9
	精密機械器具製造業	13	46.2	46.2	7.7	38.5	13	30.8	23.1	46.2	-15.4	13	46.2	53.8	0.0	46.2

製造業の受注状況DIの推移

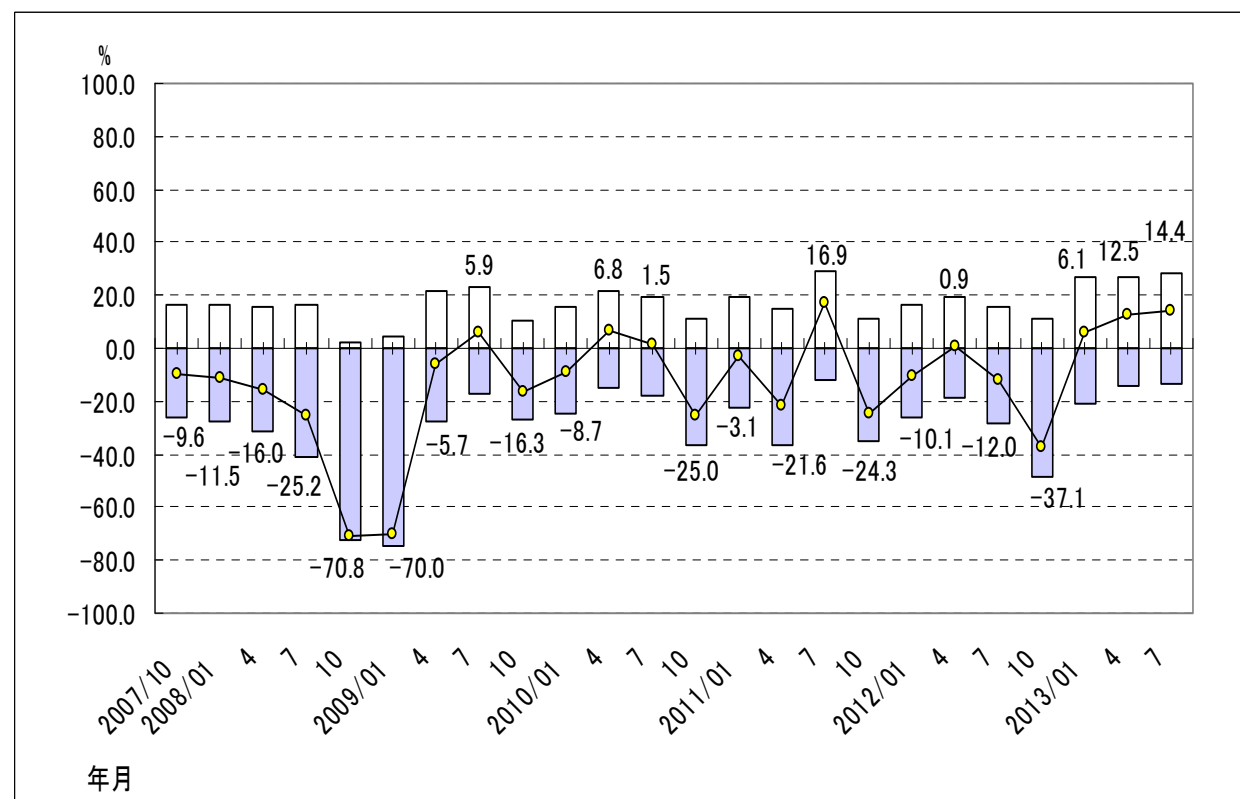
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



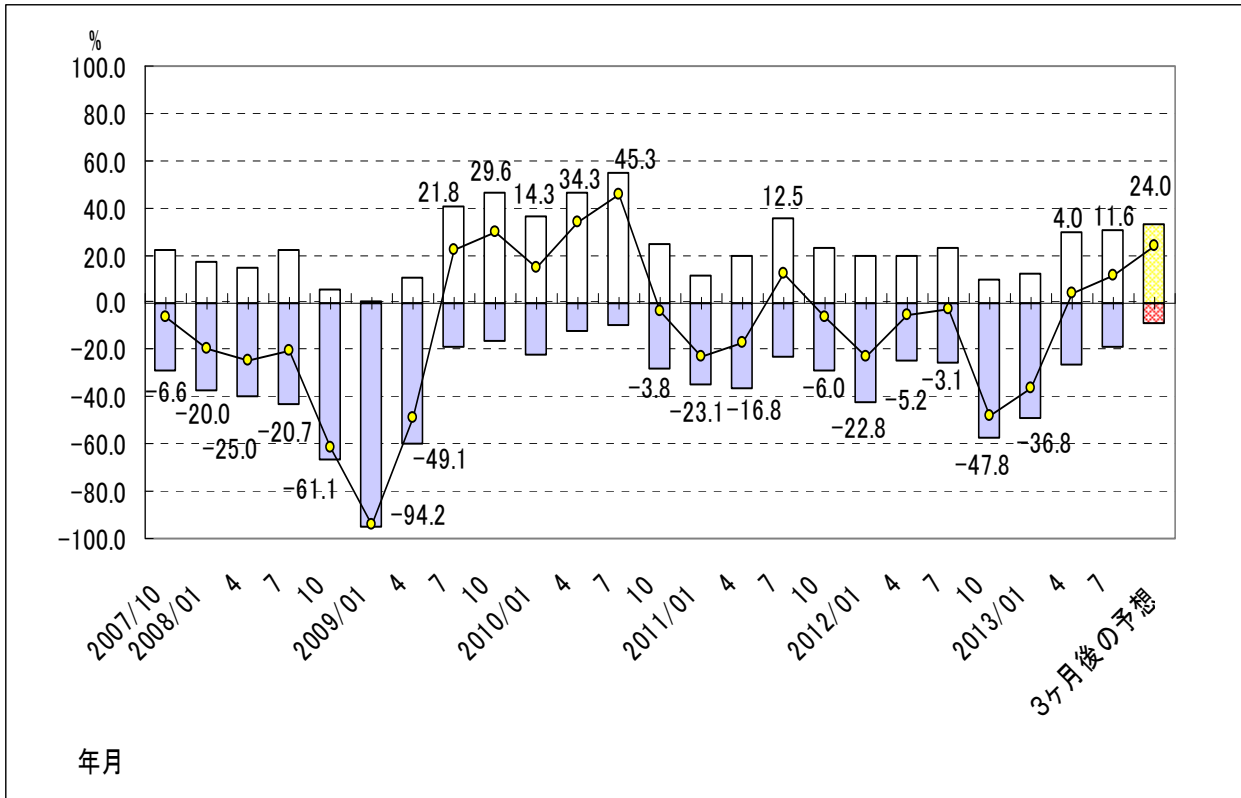
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



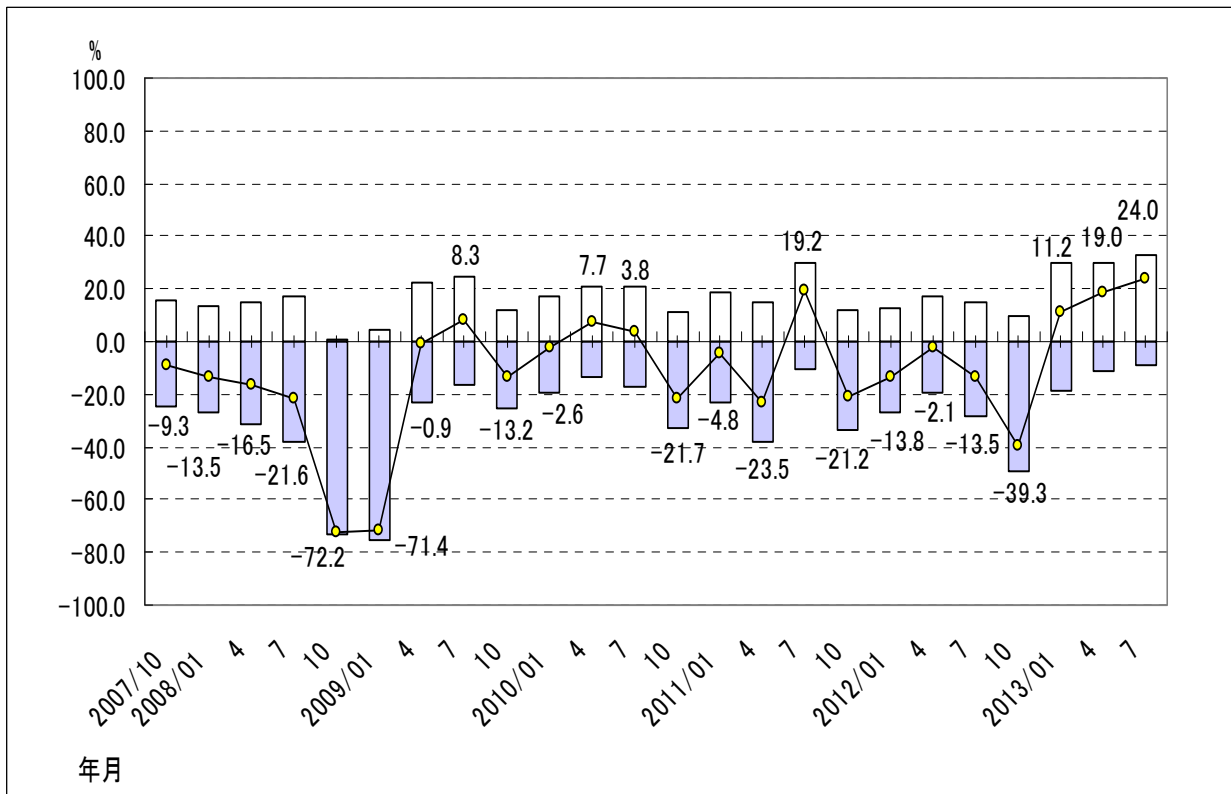
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

諏訪地方の7月の天候は、平年より15日早い梅雨明けとなった。「3ヵ月前」と比べ、業況判断DIと来店客数DIは0.0で「好転」と「悪化」の企業が分かれる。また、収益性DIは16.6で前回の30.8より悪化した。客単価DIは8.4で前回の0.0から改善している。「前年同期」比の業況判断DIは25.0で、前回の23.1から改善した。「3ヵ月後」の業況予想DIは「好転」と「悪化」を予想する企業が同率で0.0と、前回と同様に見方が分かれている。「円安の影響」は、「3ヵ月前」「前年同期」「3ヵ月後」ともに好影響と見る企業が少ない。

- 食料品 野菜や果実の価格が上がったが、売れ行きは伸びた。ビールや熱中症対策飲料が好調だった。
- 衣料品 中旬まで気温が高い日が続き、肌着の売れ行きが良かった。
- 自動車 長野県内の7月の新車新規登録・届出台数は、前年同月比で登録車が8ヶ月連続で減少しているが、軽自動車は5ヶ月ぶりに増加した。
- 家電店 ルームエアコンの需要が増加し、冷蔵庫も省エネ性の高い製品を中心に増加した。
- ホームセンター 気温上昇時にプール用品や簾、扇風機など夏物商品の売れ行きが伸びる傾向だった。

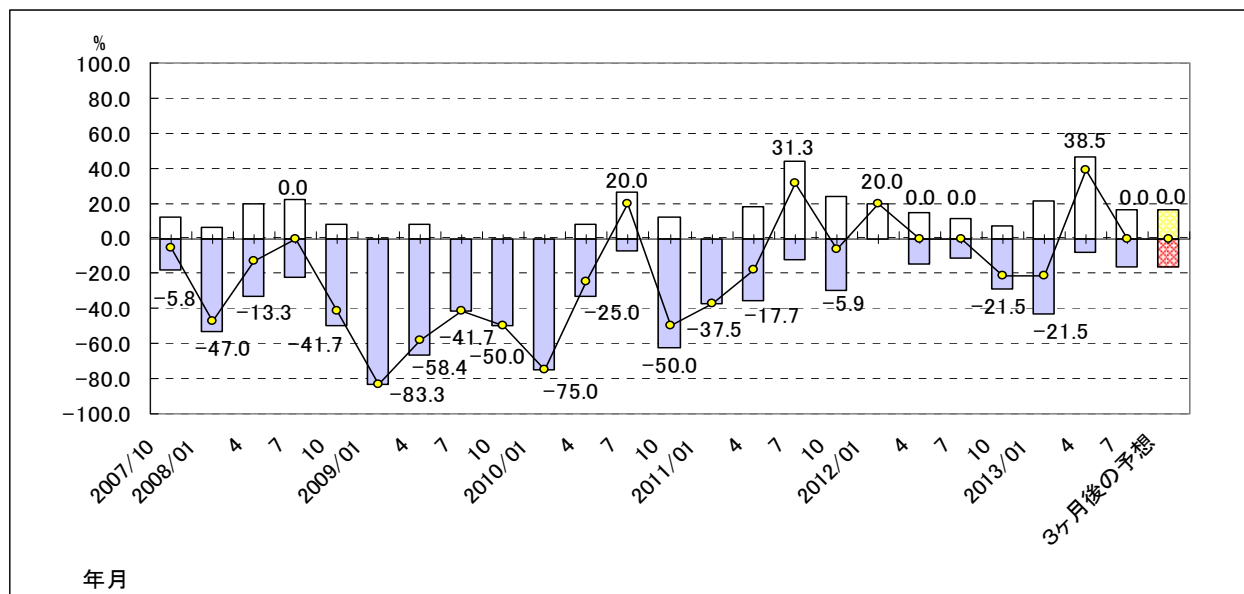
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	41.7	41.7	16.7	25.0	12	16.7	66.7	16.7	0.0
客単価	12	16.7	75.0	8.3	8.4	12	25.0	66.7	8.3	16.7	12	16.7	75.0	8.3	8.4
来店客数	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	33.3	41.7	25.0	8.3	12	8.3	66.7	25.0	-16.7

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

関東甲信や東海で猛暑が続いたことで旅先に信州を選んだ観光客も多く、7月の連休は諏訪地方の行楽地がにぎわった。観光施設では業況判断DIが「3ヶ月前」より好転しているが、「前年同期」比では△17.7で、前回調査時の0.0から悪化した。客単価DIは△11.7で前回の△15.0からやや改善したが、宿泊客数DIは△23.5で前回の20.0から悪化している。団体のツアー客が減少し、個人や家族連れが増加する傾向となっている。アジア中心の外国人観光客は増えている。富士見高原は百日草のゲレンデなどが好評で各施設の来場者数が伸びた。「3ヶ月後」は業況予想DIが47.0で前回の45.0を上回り、宿泊客数も29.5と増加を予想する施設が多い。

- 上諏訪温泉 個人のインターネット予約に活気があり、インバウンドの宿泊も増加傾向。今秋に向けた受入態勢を強化している。新作花火までの予約状況は前年を上回る状況。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 梅雨明けが早く好天で、ニッコウキスゲなどの植物目当ての宿泊客が多かった。新規宿泊も増えているが、施設によって差がある。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた7月の参拝者数は約50千人と、前年同月比約6千人の減少(△10.7%)となった。

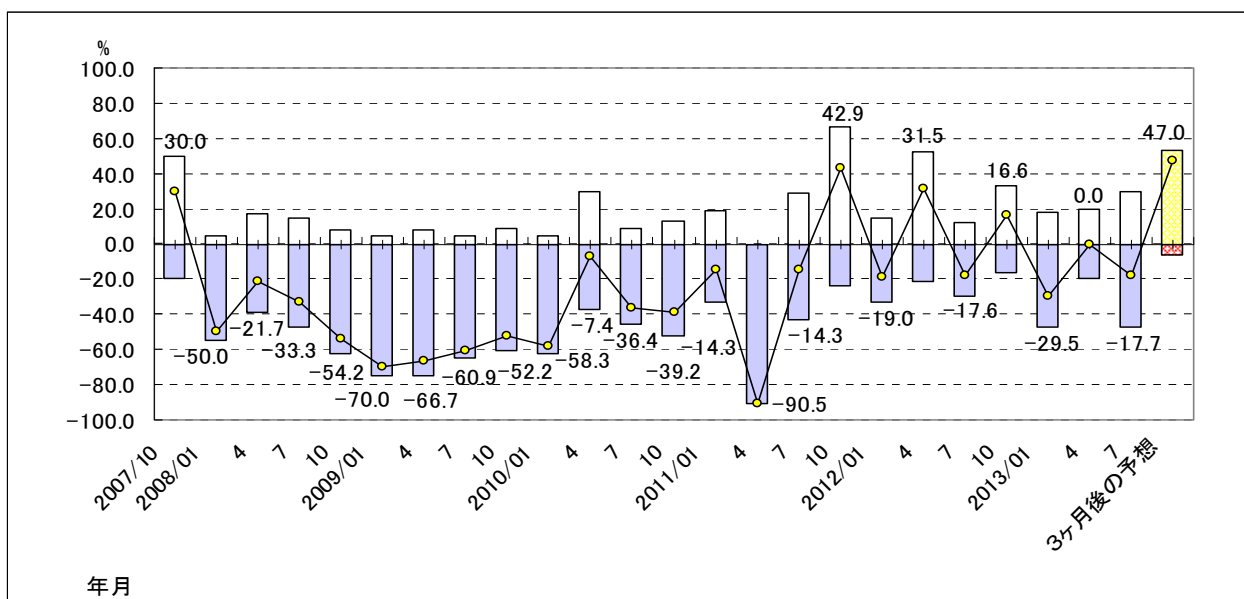
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	17	52.9	41.2	5.9	47.0	17	29.4	23.5	47.1	-17.7	17	52.9	41.2	5.9	47.0
客単価	17	23.5	58.8	17.6	5.9	17	11.8	64.7	23.5	-11.7	17	29.4	52.9	17.6	11.8
宿泊客数	17	52.9	29.4	17.6	35.3	17	29.4	17.6	52.9	-23.5	17	47.1	35.3	17.6	29.5

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて、「横這」企業が90.0%と多く、同DIは10.0となった。「前年同期」比も10.0で前回(23.1)からはやや悪化し、「3ヶ月後」は、「横這」企業が80%で業況判断DIは20.0となっている。受注状況予想DIは40.0と高く、収益性予想DIは前回の△7.7から0.0となっている。受注量が増加する一方で、円安による資材上昇や長引いた建設不況で縮小した人手の確保の懸念が出ている。

●建築工事

諏訪地方の6月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市31戸、諏訪市28戸、茅野市34戸、諏訪郡33戸となった。平成25年4月～6月の利用別前年同期累計比では貸家270.6%、分譲47.1%、持家26.1%と伸びている。県全体の6月の新設住宅着工戸数は1,179戸で前年同月比19.2%増加した。

●公共工事

7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所4件119百万円、県施設課関係工事1件52百万円、長野国道事務所等国関係3件94百万円だった。市町村は岡谷市新病院建設事業建築工事分があり、建築工事5件、4,151百万円、土木及び下水道工事61件343百万円、その他工事23件2,972百万円だった。

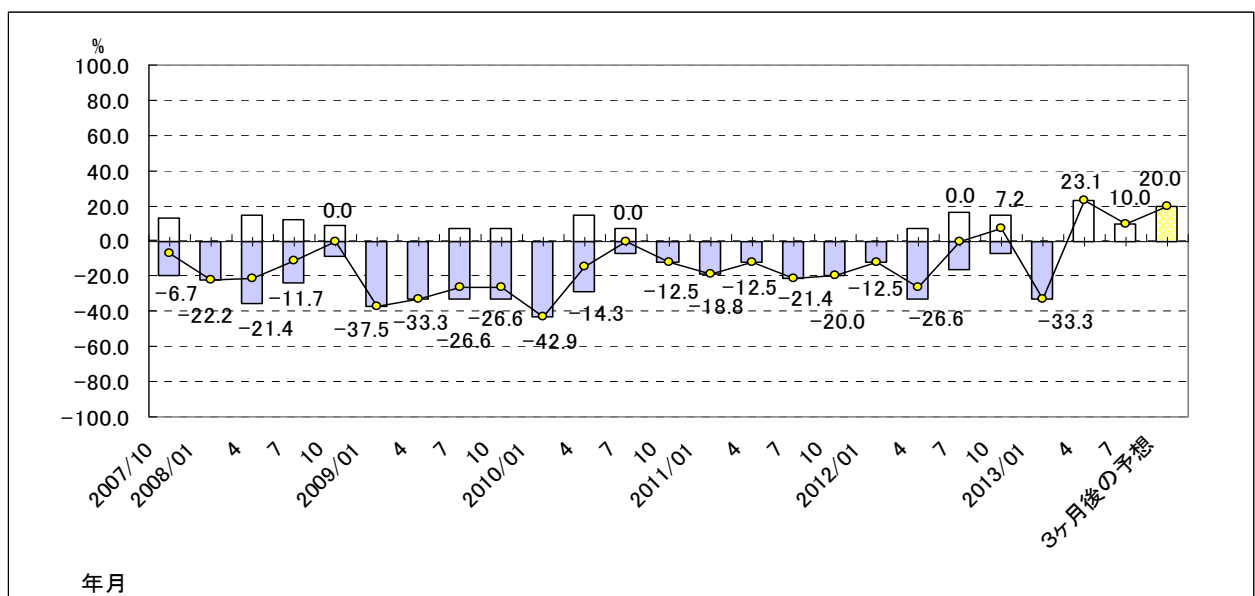
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	10	10.0	90.0	0.0	10.0	10	30.0	50.0	20.0	10.0	10	20.0	80.0	0.0	20.0
受注状況	10	20.0	80.0	0.0	20.0	10	50.0	20.0	30.0	20.0	10	40.0	60.0	0.0	40.0
外注発注量	10	10.0	80.0	10.0	0.0	10	40.0	50.0	10.0	30.0	10	10.0	90.0	0.0	10.0

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



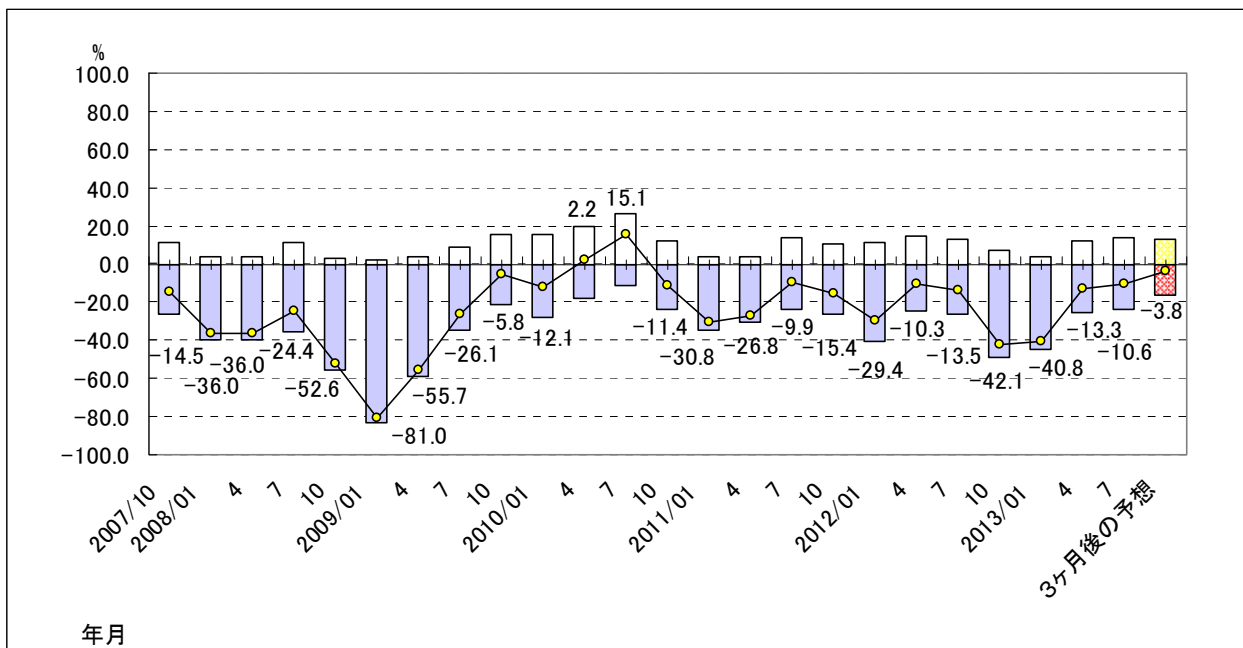
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 16.4%、「悪化」企業 20.5%で同DIは $\Delta 4.1$ と、「悪化」企業が上回るものの、前回調査時の $\Delta 9.8$ からは改善した。一方、「前年同期」比では $\Delta 24.5$ で、前回の $\Delta 16.7$ から 7.8 ポイント悪化した。製造業は $\Delta 30.3$ で前回の $\Delta 27.3$ から 3.0 ポイント悪化し、非製造業も $\Delta 5.1$ で、前回の 13.0 から 18.1 ポイント悪化している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が $\Delta 3.8$ で前回の $\Delta 6.3$ から 2.5 ポイント改善し、非製造業は 10.2 で前回の 10.9 とほぼ同様となり、回答全社では $\Delta 0.6$ で前回の $\Delta 1.7$ から改善している。

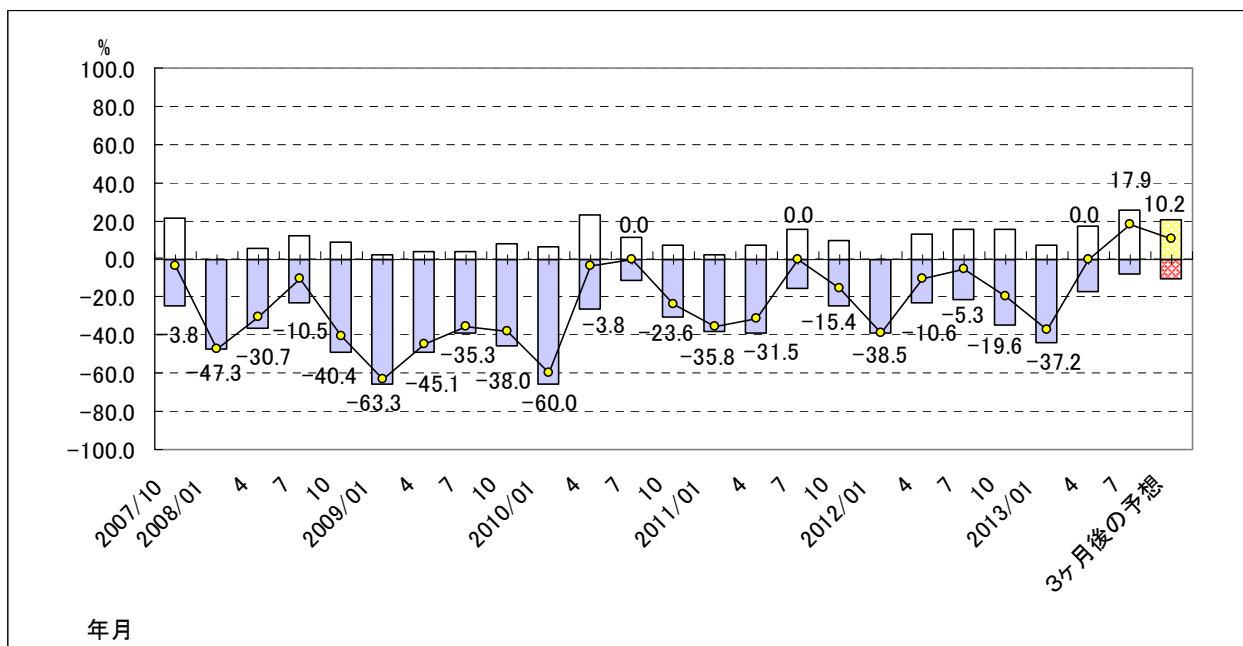
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、単価引き下げ、競争激化をあげる企業が多く、②商業は競争激化、単価引き下げ③建設業は競争激化、売上減少、人件費④観光・サービス業は売上減少、人件費などがあげられている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	80	65	2	3	10
単価引き下げ	44	38	3	0	3
競争激化	43	31	4	4	4
資金繰り	35	29	1	1	4
人件費	25	15	2	3	5
労働力確保	15	11	2	1	1

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【6月】	ハローワーク諏訪	0.76倍	0.02ポイント	
手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	7,775枚	△936枚	
	金額	10,935百万円	△342百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	3枚	△4枚
	金額	1,120千円	△1,838千円	
電力使用量【7月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	37,572 MWh	△5.4%	
	高压電力計	95,454 MWh	1.7%	
	合計	133,026 MWh	△0.4%	
車庫証明取扱件数【7月】(諏訪地方合計)		979件	△15.1%	
新設住宅着工戸数【H25.4~25.6】(諏訪管内)		343戸	47.2%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成25年7月末
- ②調査内容 「平成25年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 171企業
- ⑦回答率 64.0%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	200	20	20	27	267
回答数	132	12	10	17	171